勞友會長以下廿三名拘引さる

昨報の如く八幡製鐵所職工人夫約一千五百名の主張に關し八幡署に出張せる齋藤福岡縣警察部長の談に曰く

[illegible]人夫は構內に[illegible]同盟罷業を決し[illegible]合して一隊を組み直ちに[illegible]を止めて後三隊に別れ[illegible]場を巡りて其作業中の職工[illegible]を脅迫し重要なる場所の破[illegible]をなし手に手に棍棒を携へて[illegible]の

職工を脅迫

して廻る中新次人員を增し午前七八時頃より本事務所前に押し寄せたり製鐵所は事態容易ならずと見て急を八幡署に報じたるも八幡署は署員不足のため小倉憲兵分隊及び小倉、若松兩署に應援を求め其到着と同時に直ちに構內に入りたるも群衆心理の勃發を恐るゝの餘り最初は室內にありて樣勢を觀望し居たるも室外にては職工側より五名の委員を選びて中川次長に面會を求めたるなり（前會の要旨は昨報の如し）次長は

◇委員に面會

し白仁長官は目下不在なり假令長官あるも職工側の要求に對し一朝一夕に解決を與へ得らるべき問題にあらざれば暫く即答不可能なりと力說せしも委員側は承知せず結局分の回答を得べく委員側より懇歩したるも之に對しても次長は何分を答へず然るに委員は集團に向つて此事實を報告せるより正午頃より集團は徐ろに解散し午後二時頃には全く人影を見ざるに至り各工場の報告によれば重要部の破壞頗んたるものあるより之までの治安取締方針にては不可能なるを思ひ犯罪に對して檢擧を行ふと決し改めて門司折尾、若松各水上署の應援を求め左の幹部以下を拘引せり

勞友會長　淺原仙藏
理事　吉村眞澄
同　一丸久八
同　富士藤年
會計部長　相原住藏
（以下廿三名）

小倉より一色、兒玉兩檢事の出張を求め一面余も出張し來れるが犯罪搜査は小原警視主任となりて暗夜の內に活動したるに午後九時より諸處に點燈を見たるも解決を與へ得らるべき問題にあらざれば暫く即答不可能なりと力說せしも委員側は承知せず結局分の回答を得べく委員側より懇歩したるも之に對しても次長は何分を答へず然るに委員は集團に向つて此事實を報告せるより正午頃より集團は徐ろに解散し午後二時頃には全く人影を見ざるに至り各工場の報告によれば重要部の破壞頗んたるものあるより之までの治安取締方針にては不可能なるを思ひ犯罪に對して檢擧を行ふと決し改めて門司折尾、若松各水上署の應援を求め左の幹部以下を拘引せり

勞友會長　淺原仙藏
理事　吉村眞澄
同　一丸久八
同　富士藤年
會計部長　相原住藏
（以下廿三名）

小倉より一色、兒玉兩檢事の出張を求め一面余も出長し來れるが犯罪搜査は小原警視主任となりて暗夜の內に活動したるに午

▲鮮人夫を脅迫し

非常汽笛を鳴らさんとし

事務所を燒かんとす

五日午前七時頃豫て計畫ありたる事とて邦人某々二名は鮮人人夫金泳文（ニセ）を脅迫して非常汽笛を鳴らさんとせしを守衛が發見してその事なきを得たり尙人夫金森宣次（ニセ）は石油罐を携へて本事務所を燒かんとする所を取押へられ外に西田健太郎と

いふ者變裝して構內に入り盛に煽動的の演說をなし居れるよりこれを檢擧せんとせしも逃走して行方不明となりたり尙右の外に犯罪者多數の見込みにて一色兒玉兩檢事は八幡署に於て取調べ中なり

▲憲兵警官

徹宵警戒

し林立せる煙突には何時もの黑煙天に冲するの壯觀を見ず汽笛の聲機械の響職工の打つ鑪槌の音も無く瓦斯や電氣も全く消し去られて夜の八幡市の

◇天空

を紅に又黃いろく焦がしてゐたものが黑暗黑になつて善後の處分を講ずべく事務所室に其の屬像と蒼色を帶ひつゝ鳩首善後策を講じて居る中川次長のテーブルの前には眠たげに小さき炎の首を打振つてゐる二挺の蠟燭があるのみである何うしたよい塩梅式に都合が出來たものかこれが前途の解決の光明ともいふべきか十二時前頃から構內に電氣燈がチラホラと見へだして來た彼れだけ多數の職の人夫が生活難の

◇叫聲

を上て騷いだこさじやし勞働者の怪氣焰や一杯機嫌に青服や黑服に八幡の市街は一種異樣の賑はひを呈するであらうと思ふてゐたのに案外にも靜肅で寧ろ何時もより遙かに寂寞を感じて其の行動の理否は編知する所ではないが頗る秩序的に行はれてゐたことが知られる朝は職工人夫が七日迄同答するといふ製鐵所側の聲明に敬意を

株式申込